

龍谷大学国際学部 創設10周年記念シンポジウム

花開く国際の10年

Celebrating the 10th Anniversary

龍谷大学国際学部は創設以来、「越境する学び」を基盤に、
国際社会で活躍する人材の育成に努めてきました。
本シンポジウムでは、10年の歩みを振り返りつつ、
学生・卒業生・教員・文化人が一堂に会し、
これからの国際社会における学びと文化の役割を多角的に考えます。
OB・OGの活躍、「人間国宝」・「重要無形文化財」をめぐる文化的実践、
そして芸術表現を通じて、「これまでの10年」を祝します。



2026年

1月10日[土] 13:00 — 17:30
(開場12:30)

プログラム(抜粋)

《第1部》

国際文化学科 OB・OG トークセッション

「越境する学び、つながる未来 — 若者と描く国際社会」

《第2部》

シンポジウム

「国宝から世界へ、文化をつなぎ未来を拓く」

登壇者／原 摩利彦(音楽家)、松井 彬(能楽師)、三宅 香帆(文芸評論家)

《第3部》

能法劇団『雨の中、傘の下』公演

会場 龍谷大学 成就館 Ryukoku Main Theater
(深草キャンパス)

対象 本学学生、教職員、卒業生、一般市民



1月8日[木] 15:15 — 16:45(4講時)
(開場15:00)

プログラム

GS学科OB・OGトークセッション

「フィールドは地球：GS卒業生が語る10年」

会場 龍谷大学 和顔館 202(深草キャンパス)

右の2次元コードより申込フォームにアクセスし、お申し込みください。

先着順／席に限りがございます。早めのお申し込みをお願いします。空きがある場合は当日受付可。



入場無料
・
要事前
申し込み

主催／龍谷大学国際文化学会 共催／龍谷大学国際学部、龍谷大学国際学部同窓会 協力／能法劇団
お問い合わせ／龍谷大学国際学部 創設10周年記念シンポジウム実行委員会 E-mail : worldpro@ad.ryukoku.ac.jp

プログラム

1月8日[木]

GS学科OB・OGトークセッション

「フィールドは地球:GS卒業生が語る10年」

15:15 16:45 (4講時)	「フィールドは地球」というコンセプトのもと、世界・日本・地域・分野を横断しながら活躍する卒業生3名を招いて、GS学科で得た学びと卒業後のキャリア形成を結び付けて語る機会を設けます。 登壇者／小野 真季(外資系コンサルティングファーム) 駒井 映里(サステナビリティ変革企業) 江里口 朱音(グローバル社会インフラ企業)
------------------------------	--

1月10日[土]

学部創設10周年記念シンポジウム ― 花開く国際の10年 ―

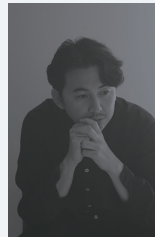
13:00 14:10	開会の辞 《第1部》 国際文化学科 OB・OG トークセッション 「越境する学び、つながる未来 ― 若者と描く国際社会」 学生時代の学びから卒業後の社会人としてのキャリアまで、さまざまな分野で活躍する卒業生3名が報告します。 登壇者／秋山 未有(モデル・タレント) 李 景和・nana(アーティスト名)(アーティスト・イラストレーター) 横見 竜也(PR会社社員)
― 休憩 ―	
14:20 15:50	《第2部》 シンポジウム「国宝から世界へ、文化をつなぎ未来を拓く」 伝統芸能と現代表現、そして国際的発信の交差点に立つ、原摩利彦氏、松井彬氏をお迎えし、文芸評論家・三宅香帆氏がインタビュアーを務め、「文化を継承し、世界へとひらく」というテーマのもとに語りあいます。創造と継承のあいだでの試行錯誤や工夫、次世代への伝達のあり方について、芸術家たちの創作と精神の核心に迫ります。 登壇者／原 摩利彦(音楽家・映画『国宝』音楽担当) 松井 彬(能楽師・重要無形文化財保持者) 三宅 香帆(文芸評論家)
― 休憩 ―	
16:20 17:30	《第3部》 能楽劇団『雨の中、傘の下』公演 国際的な視点から能狂言をプロデュースしてきたジョナ・サルズ演出のもと、小説家の澤西祐典の短編小説を舞台化。松井彬氏等が演じる。



演 出／ジョナ・サルズ(能楽劇団主宰、龍谷大学国際学部名誉教授)
原 作／澤西 祐典(小説家、龍谷大学国際学部准教授)
出 演／松井 彬、飛鳥井 かづり、西村 麻生、久田 舜一郎(重要無形文化財保持者)、
松井 俊介

閉会の辞

シンポジウム登壇者プロフィール



原 摩利彦

京都大学教育学部卒業。静けさの中の強さを軸にピアノを中心とした室内楽やフィドルレコーディング、電子音を用いた音響作品を制作する。アルバム『PASSION』(2020)、『ALL PEOPLE IS NICE』(2021)をリリース。アーティストグループ「ダムタイプ」へ参加。野田秀樹作・演出の舞台『正三角関係』その他、ダミアン・ジャレ、名和晃平、森山未來、田中泯などの舞台作品、東京2020オリンピック開会式追悼パート(森山未來出演)、映画『国宝』『流浪の月』(監督:李相日)、『夏の砂の上』(監督:玉田真也)、『ロストケア』(監督:前田哲)、NHKドラマ『幸運なひと』『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』、NHK『日曜美術館』新テーマソング(坂本美雨と共作)など、多岐にわたって音楽を手がけている。



松井 彬

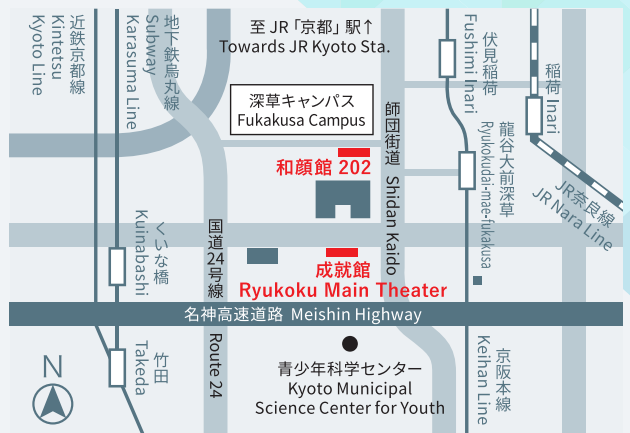
能楽師(喜多流)。重要無形文化財保持者。和歌山県和歌山市生まれ。6歳から和島富太郎氏の下で能を学ぶ。中学2年の時に、喜多流宗家喜多実氏の内弟子となる。20代前半で独立。喜松会を発足し、和歌山、東京や大阪などで活躍。海外での講演も積極的にに行い、訪れた国は100か国以上。国内のほか海外でも能の指導・公演、世界各国の演者とのコラボレーションを長年積極的にに行い、2016年、ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校より名誉博士号を授与。2018年、文化庁より地域文化功労者個人賞を受賞。



三宅 香帆

文芸評論家。京都市立芸術大学非常勤講師。1994年高知県生まれ。京都大学人間・環境学研究科博士前期課程修了。天狼院書店京都支店長、リクルート社を経て独立。小説や古典文学やエンタメなど幅広い分野で、批評や解説を手がける。著書『文芸オタクの私が教える パズルの文章教室』『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』『「話」が面白い人』は何をどう読んでいるのか?等多数。

アクセス



- JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ 徒歩約8分
- 京阪本線「龍谷大前深草」駅下車、西へ 徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ 徒歩約7分
- 最寄りのバス停:市バス 龍谷大学前

会場:龍谷大学深草キャンパス

〒612-8557 京都市伏見区深草塚本町67 E-mail : worldpro@ad.ryukoku.ac.jp